

株式会社 京都銀行

京都市下京区扇丸通松原上る
郵便番号600-8652

滋賀県内の公立小・中・養護学校にも

「リサイクル トイレtpペーパー」を寄贈します！

京都銀行（頭取 柏原 康夫）では、環境保護への取り組みの一環として、平成10年から行内の廃棄文書類をトイレtpペーパーなどにリサイクルして使用しております。

平成13年からは、子供たちに環境問題に関心を持ってもらうため、この「リサイクルトイレtpペーパー」を京都府内の全公立小・中学校および養護学校等（平成20年4月 617校）に、年間使用量の約半分を寄贈しております。

今般この活動を広げ、平成20年度より滋賀県内の当行店舗所在地にある公立小・中・養護学校等129校にも寄贈しますのでお知らせいたします。

平成12年12月に滋賀県内初の草津支店を開設以降、県内の店舗網を拡大してきた当行は、昨年11月の近江八幡支店開設により、現在7カ店体制となっております。これを機に滋賀県においても、子供たちの環境保全意識の一層の向上への一助となることを願い、「リサイクルトイレtpペーパー」の寄贈を始めるものです。

当行では、本年3月1日に「京銀環境方針」を制定するとともに、本部組織横断的な「環境委員会」を設置して積極的・継続的な環境保全活動を推進しております。今後も引き続き、環境問題を経営の重要課題として認識し、積極的に環境保全に取り組んでまいります。

記

1. 寄贈品

「リサイクル トイレtpペーパー」

2. 平成20年4月に寄贈する学校数および寄贈数量

滋賀県	129校	30,484巻	10月にも同等数量の寄贈を予定しております。
京都府	617校	105,552巻	

滋賀県は当行店舗所在地（大津市、草津市、栗東市、近江八幡市、彦根市）
京都府下は全域の公立小・中・養護学校等

3. 寄贈の時期

平成20年4月、10月（年2回に分け寄贈）

4. 寄贈の方法

直接、各学校にお届けします。

以上

<ご参考>

当行の環境への主な取り組み

資源のリサイクルへの取組

「榎島文書センター」にて行内の廃棄文書類のリサイクルを実施
リサイクルしたトイレトーパーを、京都府内の公立小中学校などへ寄贈
(年間約21万巻、府内の公立小中学校の平成19年度の年間使用量の半年分)
「使用済み蛍光灯ランプ」をリサイクル原料へ再生するシステムを導入
グリーン購入の促進(渉外用カバンへのペットボトルリサイクル製品の採用等)

ISO認証の取得

平成15年、事務センター(京都市)では、「ISO14001」(環境マネジメントシステムの国際規格)を取得し、電力使用量やコピー用紙の使用削減に取り組み

環境に配慮した企業や住宅に対する金融支援

「京銀エコ・ローン」、「京銀エコ・私募債」の取扱い
「京銀エコ住宅ローン金利優遇」の実施
「エコカー・セーフティードライブ優遇」の実施

エコカーの導入

廃棄文書類や使用済み蛍光灯ランプの回収車に「天然ガス自動車」を導入

屋上緑化等

「本店東館」をはじめ、堅田支店、事務センターで実施
堅田支店が滋賀県の「第3回^{オウミ}淡海ユニバーサルデザイン賞(施設部門)」を受賞(2007年)
すべての人が利用しやすく、風力発電やソーラーシステム、屋上緑化など環境にも配慮している点が評価されました



ユニバーサルデザイン賞 表彰式



堅田支店の屋上緑化

「京銀ふるさとの森づくり」植樹祭の開催

当行嵐山研修会館で、地元の小学生や近隣住民等と51種類4,000本の木々を植樹



近隣の小学生たちと植樹



かわいい花を咲かせたサザンカ

「京都モデルフォレスト協会」の活動へ参画

地球温暖化の防止や災害の防止、景観の保全にむけた森林整備（間伐、枝打ち）活動へ参加するなど、森を守り育てる運動に参画



第1回森林整備教室の参加者



第6回森林整備教室(間伐体験)

その他

電気の使用について

使用していない部屋や共用部分（トイレ・廊下等）の照明の消灯や空調の停止
開店前や閉店後のロビーの照明の消灯
待機電力の削減（機器を主電源で操作、節電モードの活用等）

自動車の使用について

効率を考慮した訪問予定経路を事前に計画し実践
「エコ安全ドライブ」の取り組み

以上